

齊藤 義明 議員



市民グループ未来の会

財政健全化を推進する中で
市長が特に力を入れる項目は

Q 第6次行財政改革大綱が策定されたが、これから財政健全化を推進する中で、市長が特に力を入れる項目は何か。

A 今後、少子高齢化の進行に伴う社会保障関係費の増加や生産年齢人口の減少による税収の減少など、厳しい財政状況が見込まれる中、積極的に自主財源を確保するため、坂出北インターチェンジのフルインター化を見据えた企業誘致、子育てしやすい環境の整備をはじめとする人口増対策、適正な債権管理による収納率の向上等に努めます。

また、普通建設事業については事業の必要性や優先度を十分に検討し取捨選択を行うなど、歳入歳出の両面にわたって不断の行財政改革を推進することにより、持続可能な行財政運営を目指していきたいと考えています。

(市長)

類似団体で比較した
住民一人当たりの人件費は

Q 定員適正化計画により削減された人件費は、累計で約237億円と見込まれており、これは大いに評価できるが、住民一人当たりの人件費を類似団体で比較するとどのような位置にあるのか。

A 直近の平成29年度普通会計決算における、本市の住民一人当たりの人件費は87,865円で、類似団体の平均値61,846円を上回っており、全93団体中7番目に高い値となっています。

今後、さらに職員の意識改革、また事務の効率化を図るとともに、選択肢として民間活力の導入も検討しつつ、最少の経費で最大の効果が上げられるよう一層の人件費の抑制に取り組んでいきます。

(総務部長)

質問の項目

- ・就学前の子供の教育・保育のあり方について
- ・市議会議員選挙について

(市長)

若谷 修治 議員



市民グループ未来の会

瀬戸内国際芸術祭2019
について

Q 市民が一丸となってつくり上げた、すばらしい瀬戸内国際芸術祭2019春会期を終え、市長の率直な感想をお伺いする。

A 初めてのゴールデンウィークを含んだ会期ということもあり、7万2,459人の方が沙弥島を訪れていただき、アートの鑑賞とともに、風景や街並み、そして島民とのふれあいを楽しんでいただけたと感じています。ごみの持ち帰り運動や、来場者の交通誘導など、地元や市内の各種団体、ボランティアの方々等、多くの市民の手によって今回の芸術祭が開催され、成功裏に終わったことは、とても感慨深いものがあります。

今回の芸術祭とアートプロジェクトは、市民の皆様が「やってよかった」と言っていた「市民共働」の芸術祭であったと実感しており、この「市民共働」の芸術祭の取り組みを、今後の市政運営にもつなげていきたいと考えています。

(市長)

高齢者ドライバーの
交通安全教室の充実

Q 高齢者ドライバーの運転免許証自主返納を促すことも重要だが、車を運転できなくなるとたちまち普段の生活が困難になる方も多いと思う。模擬信号機や運転シミュレーター等の交通安全補助機材を活用して、参加・体験・実践型交通安全教室の充実を図ってはどうか。

A 高齢者を対象とした交通安全教室については、老人クラブ等を対象に毎年実施しており、昨年度は19回実施しました。また、平成29年度より、坂出自動車学校主催による高齢者交通安全教室を実施しており、高齢者の皆さんの交通安全意識の高揚につながっていると考えています。

今年度においても、高齢者交通安全教室を実施予定と聞いており、模擬信号機、運転シミュレーター等の活用については、当該教室の充実が図られると考えられることから、機材を設置している坂出自動車学校にご協力をお願いしていきたいと思えます。

(市民生活部長)

質問の項目

- ・ネット・ゲーム依存について
- ・登下校時における児童生徒の安全確保について
- ・まちづくり教育について

(市長)